

日本教授学習心理学会 第22回年会のご案内

(第1号通信)

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、第22回年会を、長野市で開催することとなりました。第21回年会に引き続き、対面で開催します。基調講演や情報交換会を通じ、旧交を温めるとともに、新しい研究や考え方との出会いが生まれる機会になればと願っております。

多くのみなさまのご参加をお待ち申し上げます。

2026年1月

日本教授学習心理学会第22回年会準備委員会

委員長 植原 俊晴 (信州大学)

準備委員 荒井 龍弥 (仙台大学)

工藤 与志文 (東北大学)

佐藤 誠子 (東北大学)

白井 秀明 (東北福祉大学)

進藤 聡彦 (放送大学)

宮田 佳緒里 (兵庫教育大学)

【I】会期・開催担当校・会場

1. 会期 : 2026年7月4日(土)・5日(日)の2日間
2. 会場 : 信州大学長野(教育)キャンパス
詳細は今後の通信でご案内いたします。
3. 開催担当校 : 信州大学教育学部
(〒380-8544 長野県長野市大字西長野6-10)

【II】内容

1. 研究発表(すべて口頭発表で行います)

(1) 発表の方法: 発表内容を口頭で報告の上、発表者と質問者との間で討議を行っていただきます。

1人当りの持ち時間は30分(発表15分、質疑15分)の予定です。

(2) 発表の要件: 予稿集への論文掲載、口頭発表、質疑への参加という3条件を満たすことによって公式発表として認められます。

(3) 発表資格

(ア) 2026年度会費を5月31日までに納めていなければなりません。

(イ) 会員外の方との共同(連名)発表は可能です。その場合、①責任発表者は会員でなければならず、②責任発表者が会員外の共同発表者の名前・所属を添えて参加申込を行うこととします。

- (ウ) 責任発表者（単独発表者も含む）になるのは1人1回に限ります。ただし、共同発表者はこの限りではありません。なお、プログラム編成上、共同発表者に関しては発表時間が重複することがありますことをご承知おき下さい。
- (エ) 責任発表者は、参加・発表の申込を4月30日（木）23:59までにGoogleフォームにて投稿してください。共同発表者および参加のみの申込は、5月31日（日）23:59まで受け付けます。GoogleフォームのURL（QRコード）は、次頁の「【Ⅲ】諸手続（1）参加・発表申込」をご参照ください。
- (オ) 責任発表者は、予稿集原稿を5月17日（日）23:59までに送付してください。予稿集原稿の送付については、次頁の「【Ⅲ】諸手続（2）予稿集原稿の投稿」をご参照ください。
- (カ) 予稿集原稿の作成については、次頁「【Ⅳ】予稿集原稿について 1. 作成要領」をご参照ください。
- (キ) 年会参加費の「予約分」については、5月31日（日）までに、同封の振込用紙にて郵便局から振り込んで下さい。年会参加費には「第22回年会予稿集代」も含まれます。第22回年会参加費用振込用紙にて学会の年度会費を振り込むことはお控えください。なお、年会参加費は不課税です。また、本学会は適格請求書発行事業者としての登録はしていません。
- (ク) 年会への参加は、「当日」も受付可能です。受付にてその旨申し出てください。

		払込者	料金（円）
予約	会員	一般	6,000
		大学院生	4,000
		学部学生	2,000
	非会員	一般	7,000
		大学院生	4,000
		学部学生	2,000
当日	会員	一般	7,000
		大学院生	4,000
		学部学生	2,000
	非会員	一般	7,000
		大学院生	4,000
		学部学生	2,000

※年会参加費の振り込みには下記の「ゆうちょ銀行口座」をご利用ください。

※年会参加費を振り込む際には、「第22回年会参加」と必ずご記入ください。

郵便振込口座 02200-0-101267 口座名義：日本教授学習心理学会

（他金融機関から振り込む場合：ゆうちょ銀行 二二九（ニニキュウ）店 当座 0101267）

2. 基調講演

信州大学教育学部特別支援教育コース 宮地弘一郎 教授の基調講演を予定しています。第2号通

信（プログラム）でご案内します。

3. 会務総会

年会 2 日目の 7 月 5 日（日）に会務総会を開催する予定です。2025 年度決算，2026 年度予算等，重要な案件をお諮りする予定ですので，会員の皆様のご出席をお願いいたします。

4. 情報交換会

準備委員会で実施に向けて検討中です。第 2 号通信（プログラム）でご案内します。

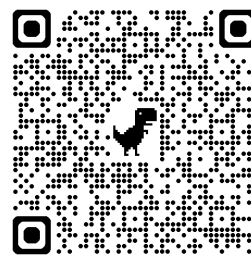
【Ⅲ】諸手続

1. 参加・発表申込

責任発表者として参加予定の方は，4 月 30 日（水）23:59 までに，

<https://forms.gle/iywnMqSZdckKzHfK7>

にアクセスして必要な情報を入力してください。また，共同発表者および参加のみの方は，5 月 31 日（日）までに申込を済ませてください。右の QR コードもご利用いただけます。



2. 予稿集原稿の投稿

責任発表者として発表を申し込まれた方は，予稿集原稿を PDF 形式で保存し，japtl2026sub-ml★shinshu-u.ac.jp（★を@に変えてください）に送付してください。なお，投稿期限は 5 月 17 日（日）23:59 です。

【Ⅳ】予稿集原稿について

1. 作成要領

(1) 原稿のフォーマット（雛形）

雛形がご入用の方は，下のアドレスまたは QR コードからダウンロードしてください。ダウンロードできないときは，年会等に関する連絡先にメールしてください。

https://docs.google.com/document/d/1990fkPMcGCrwHwWWSH6VJrJBjHUSqAGf/edit?usp=drive_link&oid=114320870335447410511&rtfpof=true&sd=true

(2) ページ数

各発表 1 件あたり，予稿集（A4）の 2 ページを割り当てます。

(3) レイアウト

別紙 1 の図を参照してください。

(4) 題目，発表者氏名，所属機関名，key words，本文

(ア)「題目」は 18～22pt 程度の大ききで上から第 1-2 行目に記述する。

(イ)「氏名」は 10.5pt で第 3 行目に記述する。

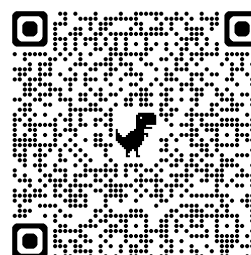
※連名の場合，責任発表者の氏名の前に○印をつける。

※会員外の連名発表者については，氏名の後に#印をつける。

(ウ)「所属」は 10.5pt で第 4 行目に氏名の下にカッコでくくって記述する。

(エ) [key words] は 10.5pt で [所属] の下，第 5 行目に 1 行のスペースで記述する。

(オ) [本文] は 10.5pt で「key words」の行から 1 行空けた第 7 行目から記述する。



(5) 本文

本文は2段組とし、行数は45行、段落内文字数は1行22字、段落間の空白は2字分を取ってください。ただし、3行、3字程度の増減を認めます。

(6) 図・表・写真

図や表の記載についての制限はありませんが、すべてを枠内に収めてください。写真は図として扱います。予稿集はモノクロ印刷となりますので、仕上がりの状態は、ご自分でプリントアウトしてご確認ください。

2. 投稿の際の留意事項

(ア) 研究発表における原稿の内容は、1つの研究としてのまとまりを考慮し、原則として「研究の目的」「方法」「結果」「考察」「文献」の項目に分け、明確に記述してください。ただし、発表者の問題意識や研究の目的・内容・方法の点に照らして、妥当な項目への変更を認めることとします。なお、「結果の詳細は発表の際に述べる」などと書くことのないようお願いいたします。

(イ) 一連発表の原稿を送付する場合には、責任発表者全員の原稿を一括して送ってください。

(ウ) 原稿はPDF形式で、japtl2026sub-ml★shinshu-u.ac.jp (★を@に変えてください) に送付してください。その際、ファイル名に責任発表者名を入れてください。

例) 第22回年会発表原稿・川中島太郎

(エ) 原稿の投稿は 5月17日(日) 23:59 までに行ってください。期限厳守をお願いいたします。

3. 校正

原稿記載の誤りは訂正されずにそのまま印刷されますので、作成要領をよく読んで原稿の作成にあたってください。原稿の差替えや準備委員会による校正は致しかねます。ご提出前に十分な確認をお願いいたします。

【V】 年会等に関する連絡先

日本教授学習心理学会第22回年会準備委員会が学会の企画・運営にあたっております。ご連絡は下記までお願いいたします。お手数ですが、可能な限り電子メールにてお願いいたします。また、お返事が滞ることがあるかもしれませんが、ご寛恕いただければ幸いです。

[住所] 〒380-8544 長野県長野市大字西長野6-10

信州大学教育学部 理科第2研究室(植原研究室)内

日本教授学習心理学会第22回年会準備委員会

[E-mail] japtl2026que-ml★shinshu-u.ac.jp ※★を@に変えてください。

[電話] 026-238-4118 (直通)

【VI】 今後の通信予定

・第2号通信：6月中旬(予定)に「第22回年会プログラム」を送付します。なお、年会予稿集は原則的に当日来場された参加者にのみ、会場受付にて配布します。また、例年、責任発表者に送付していた通信はございませんので、ご注意ください。

(A4 用紙)		上余白 20mm	右余白 20mm
左余白 20mm	→ ←		
題 目			↑
○発表者氏名 連 名 会員外連名 #			6 行
key words : (所 属) (所 属) (所 属)			↓
(1 行空ける)			↑
(7 行目から)			
← 22 字 → (本 文)		← 22 字 → (本 文)	
		適宜図や表, グラフ等をうめ こむ	39 行
(右の段へ)		※原稿は 2 ページです。2 ペー ジ目は 1 行目から続きを記述し てください (題目等不要)。	↓
	→ 2 字空 ける ←	下余白 20mm	